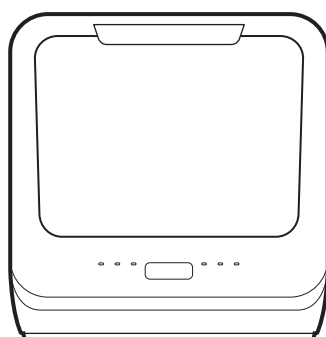


食器洗い乾燥機

SS-M151



取扱説明書 保証書つき

このたびはsiroca食器洗い乾燥機 SS-M151をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。この製品を安全に正しくお使いいただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。お読みになった後は、お手元に置いて保管してお使いください。

この取扱説明書の内容は改善のため、予告なく変更することがあります。

この製品は家庭用です。
業務用にはお使いにならないでください。
日本国内専用
USE ONLY IN JAPAN

もくじ

安全上のご注意	2
各部のなまえ	5
ご使用の前に	8
使いかた	10
お手入れのしかた	16
据え付け	20
仕上がりが気になるとき	24
故障かなと思ったら	25
修理をご依頼いただく前に	29
仕様	29
部品・消耗品	30
アフターサービス	30
お客様相談窓口	31
保証書	32

安全上のご注意

— 必ずお守りください —

ここに示した注意事項は、お使いになるかたや他のかたへの危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために重要な内容を記載しています。

お使いになる前によくお読みになり、記載事項を必ずお守りください。

表示の説明



警告

取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



注意

取り扱いを誤った場合、傷害を負う、または物的損害が発生することが想定される内容です。

図記号の説明



禁止(してはいけない内容)を示します。



強制(実行しなくてはならない内容)を示します。



警告

本製品の取り扱いについて



分解禁止

分解、修理や改造を絶対に行わない
発火・感電・けがの原因になります。修理は、お買い上げの販売店またはシロカサポートセンターにご相談ください。



禁止

子どもや不慣れな方だけで使わせたり、乳幼児の手の届くところで使わない
やけど・けがの原因になります。



水ぬれ禁止

本体、電源コード、電源プラグを水につけたり、水をかけたりしない
ショート・感電の原因になります。



禁止

火気を近づけない
タバコや火のついたローソクなどを本体に近づけないでください。火災の原因になります。



禁止

運転中は、絶対に庫内や食器、メッシュトレイに触れない
やけどの原因になります。



アース接続

アースを必ず取り付ける
故障や漏電時、感電の原因になります。アース工事は、必ずお買い上げの販売店または電気工事に依頼してください。(工事費は本体価格に含まれません。)



ガスコンロなどの熱源から15cm以上離す
火災の原因になります。



本体のお手入れは運転終了後、30分以上経過してから行う
やけどの原因になります。



禁止

穴、すき間、開口部に指を入れたり、ピンや針金などの金属物を入れない
火災・感電・やけどの原因になります。



製品に異常が発生した場合は、すぐに使用を中止する

製品に異常が発生したまま使用を続けると、発煙・発火・感電・漏電・ショート・けがなどの原因になります。

＜異常・故障例＞

- 電源コードや電源プラグがふくれるなど、変形、変色、損傷している
- 電源コードの一部や電源プラグがいつもより熱い
- 電源コードを動かすと通電したりしなかったりする
- 本体がいつもと違って異常に熱くなったり、焦げ臭いにおいがする
- 本体が作動しない など

上記のような場合は、すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはシロカサポートセンターに点検・修理を依頼してください。



禁止

運転中は本体に衝撃を与えない
感電・漏電・ショートによる火災の原因になります。

警告

電源コード・電源プラグについて



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない

感電・けがの原因になります。



禁止

電源コードが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない

感電・ショート・発火の原因になります。



電源プラグは根元まで確実に差し込む
差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因になります。



電源プラグの刃および刃の取り付け面に付着したほこりはふき取る
ほこりが付着していると、火災・感電の原因になります。



禁止

電源プラグをなめさせない

感電・けがの原因になります。特に乳幼児には触れさせないように注意してください。



禁止

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100V以外での使用はしない

たこ足配線などで定格を超えると、発熱・発火・火災・感電・故障の原因になります。



禁止

延長コードは絶対に使わない

コンセントや電源プラグ・電源コードが異常発熱し、発火の原因になります。



禁止

電源コードを束ねて使わない

熱の逃げ場がなくなって高温になり、ショート・発火の原因になります。



禁止

電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない

電源コードや電源プラグを以下のような状態で使うと、感電・ショート・火災の原因になります。
傷つける、加工する、無理に曲げる、高温部に近づける、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、挟み込む など



プラグを抜く

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く

感電やショートによる発火の原因になります。



プラグを抜く

お手入れするときや長期間使わないときは電源プラグをコンセントから抜く

外出するときや長期間使わないときは、電源プラグを抜いていることを確認してください。絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。



水ぬれ禁止

電源コード・電源プラグを水につけたり、水をかけたりしない

ショート・感電の原因になります。

⚠ 注意

本製品の取り扱いについて



禁止

本製品を絶対に業務用に使わない

本製品は一般家庭用です。業務用にお使いになると無理な負担がかかり、火災・故障の原因になります。



禁止

操作パネルに磁気のあるものを近づけない

誤作動の原因になります。



禁止

排気口から出る湯気や排水ホースからの排水に触れない

やけどの原因になります。



運転中にドアを開けるときは、スタート／一時停止ボタンを押して運転が停止したことを確認する

また、高温の庫内・メッシュトレイ・湯気・食器などに充分注意して開けるやけどの原因になります。



禁止

本体を動かしたり傾けたりしない

水漏れの原因になります。



禁止

ドアを開けるとき、ドアの上に重いものを載せない

落下して、けが・故障の原因になります。



禁止

本体の上に乗ったり物を置いたりしない

落下、破損によるけがの原因になります。



禁止

開いたドアや本体を強く押さない

転倒・落下によるけがの原因になります。



禁止

食器がはみ出た状態でドアを閉めない

ドアが変形し、熱湯や水が飛び出し、やけどの原因になります。



ドアを開閉するときは、指を挟まないように注意する

けがの原因になります。



運転終了後は分岐水栓を閉める

水漏れの原因になります。

使用上の注意事項



食器洗い機専用洗剤を使用する

台所用洗剤などを使用すると泡が大量に発生し、水漏れや故障の原因になります。



禁止

台所用洗剤や重曹を使用しない

台所用洗剤が付いた食器は洗い流してから入れてください。また、重曹を使うと故障の原因になります。



禁止

お湯を使用しない

お湯をタンクに入れると故障の原因になります。また本製品は給湯機に接続できません。



ナイフや先の尖ったものは、尖っている方を下向きに入れるか、横に寝かせて入れる

けがの原因になります。



付属品は必ず専用のものを使う

異なる製品の付属品を使用すると、付属品の破損、本製品の故障の原因になります。



テレビやラジオなどの電気製品は、食器洗い機の近くで使わない

画像の乱れや雑音の原因になります。



禁止

食器洗浄以外の用途には使わない

故障の原因になります。

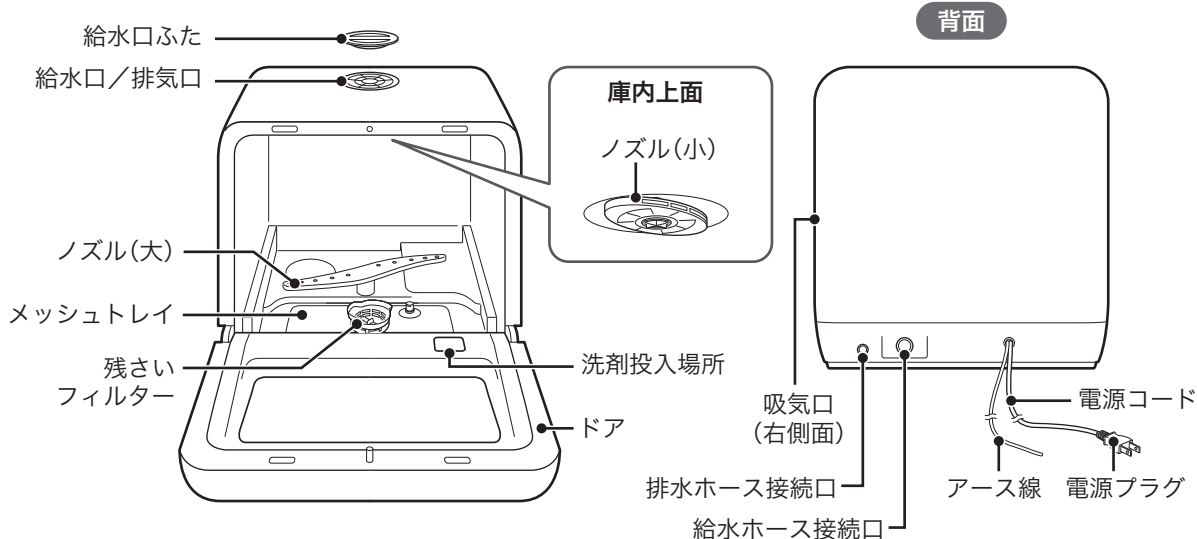


使用していないときはドアを閉める

設置場所によっては、手が当たったり、つまづく原因になります。

| 各部のなまえ

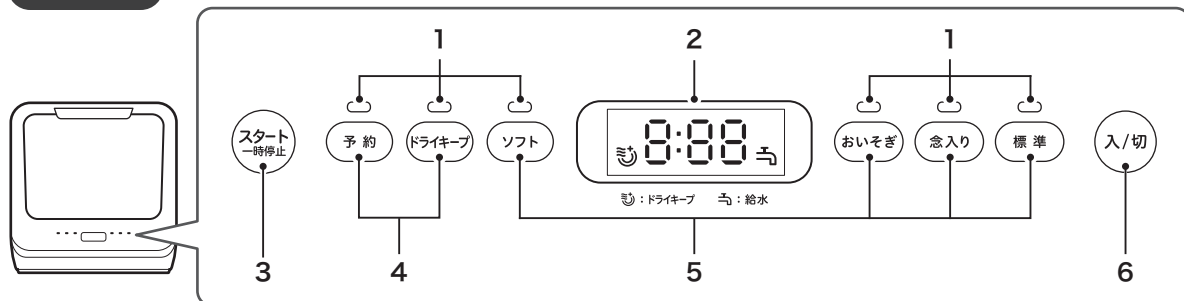
本体



ご注意

- 給水口／排気口、吸気口をふさがないでください。

操作部



モード		使用用途
1	ランプ	選んでいる項目(洗浄コース、オプション)のランプが点灯します。
2	ディスプレイ	運転時間、予約運転時間、ドライキープアイコン、給水アイコンが表示されます。
3	「スタート／一時停止」ボタン	洗浄を開始する、中止するときに押します。
4	オプションボタン	「予約」ボタン：予約運転を設定するときに押します。 「ドライキープ」ボタン：各コースでの運転と送風乾燥後、庫内に送風を行うときに押します。
5	洗浄コースボタン	➡「洗浄コースについて」 13ページ
6	「入／切」(電源)ボタン	本体の電源を入れる、切るときに長押しします。

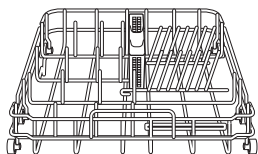
| 各部のなまえ

付属品

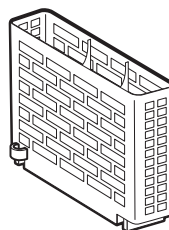
⚠ 注意

庫内のかごの下に入っている乾燥剤を使用前に必ず取り出してください。

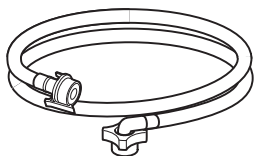
▶ かご



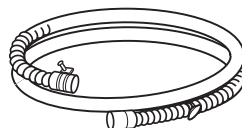
▶ 小物入れ



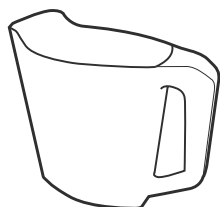
▶ 給水ホース(1.5m)



▶ 排水ホース(1.5m / クリップ / 吸盤付き)

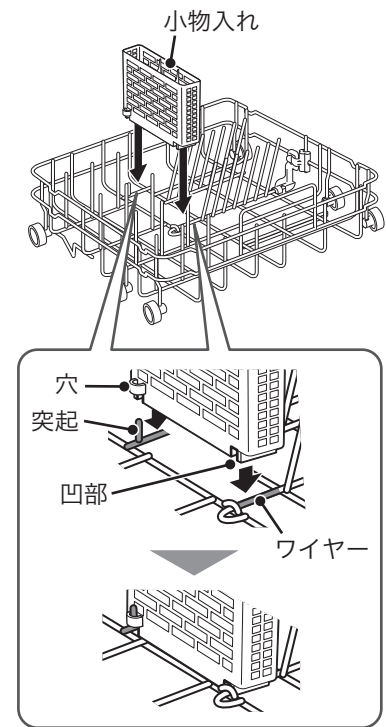


▶ 給水カップ



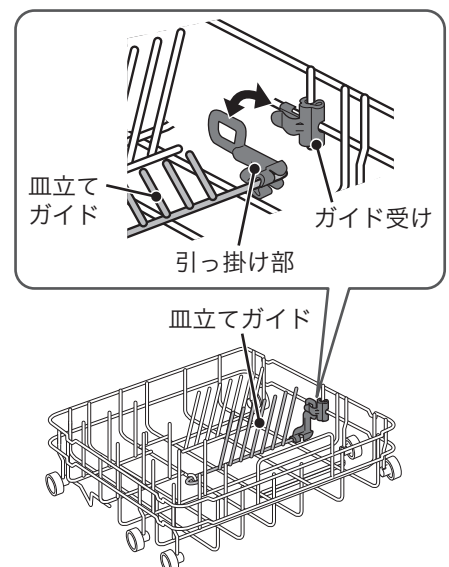
▶ 小物入れの取り付けかた

- 小物入れの穴をかごの突起に通し、凹部をワイヤーにはめ込み、取り付けます。
ご使用前にきちんと小物入れがかごに取りついているか確認してください。



▶ 皿立てガイドについて

- 大きな食器を入れる際は、皿立てガイドを倒すことができます。
- かごに付いているガイド受けから皿立てガイドの引っ掛け部をはずすと、皿立てガイドを倒すことができます。
皿立てガイドを立てるときは、皿立てガイドの引っ掛け部をガイド受けにはめ込みます。



| ご使用の前に

本製品は、説明に従って正しく設置してください。

➡「据え付け」[20 ページ](#)

洗えないもの

注意

▶ 強化ガラス製のもの

強化ガラス製の食器などは、洗浄中に粉々になって破片が飛び散り、けがの原因になります。

▶ 飛ばされやすい軽いもの

プラスチックのスプーンやふた、発泡スチロール容器、ふきん、スポンジ、ほ乳瓶の吸い口などの軽いものは、水圧で飛ばされて変形や破損の原因になります。

▶ 熱に弱いもの

- 耐熱90℃未満、および耐熱表示のないプラスチック食器
(耐熱65℃以上のプラスチック食器は、ソフトコースで洗えます)

▶ 割れやすいもの

- 傷のついたガラス食器
- ひびの入った食器
- 木製の柄の付いたなべ、包丁

▶ 変色しやすいもの

- 銀製、洋銀製食器など
- アルミ製、銅製のなべや食器
- 木(竹、とう)製食器
- 漆塗り食器、重箱、金箔入りの食器、上絵付けの食器
- クリスタルグラス

▶ その他

- 鉄製のフライパンなど錆びるおそれがあるもの
- フッ素加工のフライパンなどで表面に傷があるもの
- びんやとっくり
- 食器洗い機専用洗剤に洗えないものとして記載があるもの

ご注意

- 上記に記載のない食器については、販売店や製造メーカーにお問い合わせください。

洗う前の準備

1

食べ残しや故障の原因になるものを取り除く

- 輪ゴムやつまようじ、魚の骨などの固いもの
- 再付着するようなゴマなどの細かい残さい
- においが取れにくい魚の皮など
- 油のかたまりなどのひどい汚れ

2

きれいに落ちないものをスポンジ等でこすり落とす

- なべの焦げ付き
- 食器の焦げ付き、こびり付き
- はしのこびり付き

ご注意

- プラスチック食器に付いた食品の色や定着した茶渋などの汚れは落ちないことがあります。

洗剤の入れかた

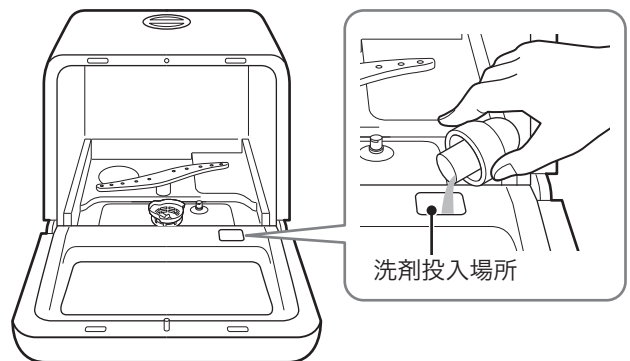
ご注意

- 食器洗い機専用洗剤(食洗機用洗剤)をご使用ください。
ご使用前に食器洗い機専用洗剤に記載された、安全上と使用上の注意もご確認ください。
- 台所用洗剤や重曹を使用しないでください。

洗剤は、右図の洗剤投入場所に入れてください。

洗剤の標準量

- 粉末または液体洗剤の場合：約6g
- タブレット洗剤の場合：1個
(タブレット洗剤の説明書をご確認ください)



｜ 使いかた

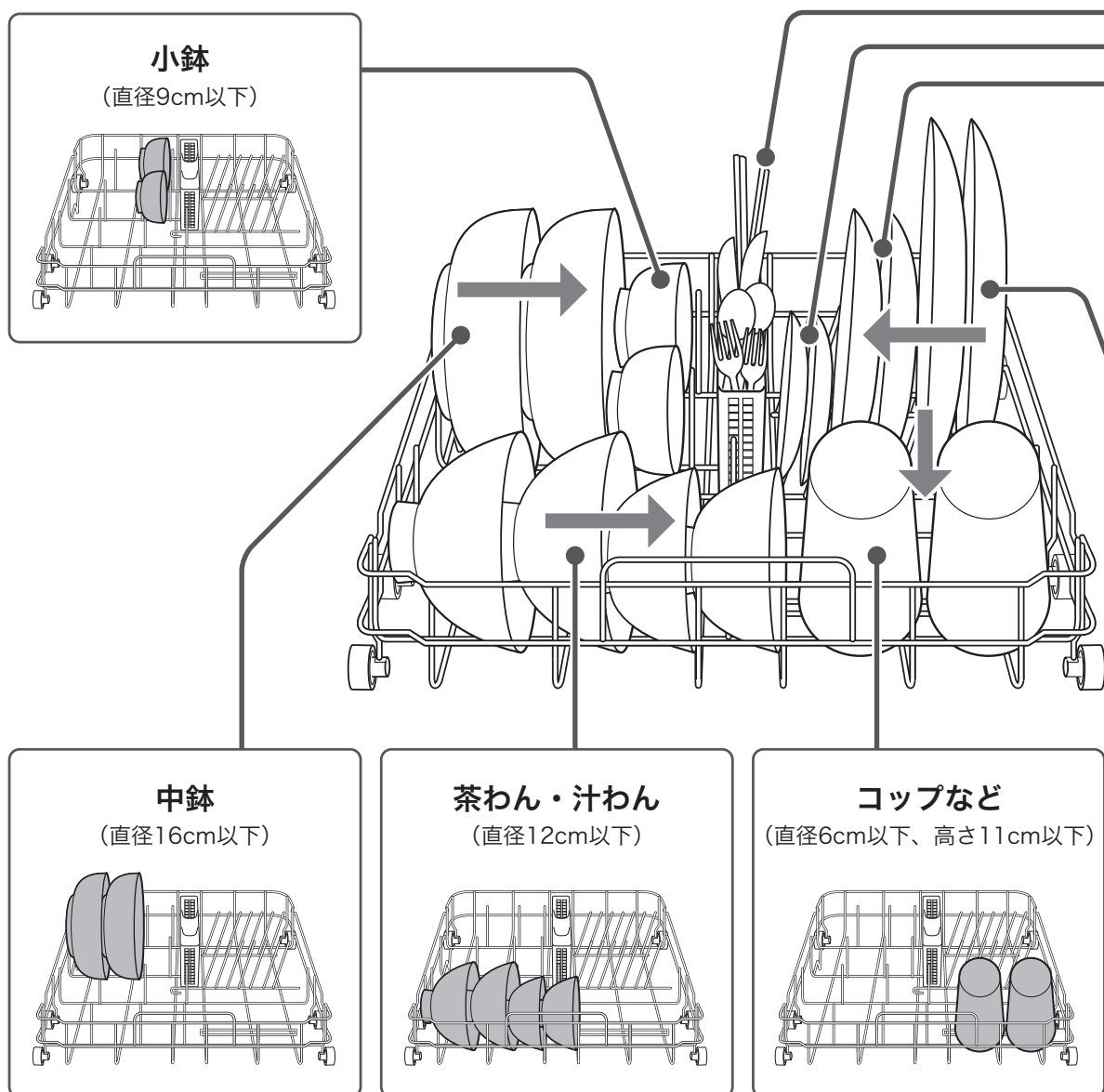
食器を入れる

- ノズルの噴射水が当たるように、食器の汚れた面を矢印の方向に向けて入れてください。
- コップや湯呑みは下向きに入れてください。
- スプーンやフォークは上向きにして、小物入れに入れてください。
- 図のように食器を入れると、標準食器*が16点入ります。
大皿…2点 中皿…2点 小皿…2点 中鉢…2点 小鉢…2点 茶わん…2点 汁わん…2点
コップ…2点 小物類(はし、スプーン等)

* 標準食器とは、日本電機工業会自主基準

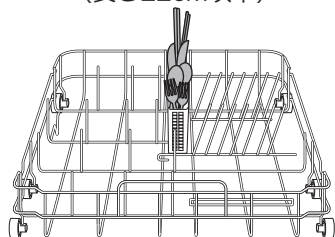
「電気食器洗い機用食器に関する自主基準」(2009年9月17日改正)に基づいた食器のことです。

イラストは一例です。形状などにより、セットできない場合があります。



おはし・スプーンなど

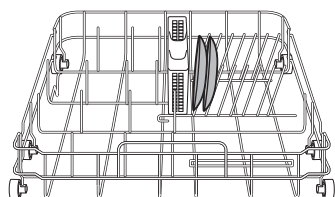
(長さ22cm以下)



小物入れの底からはみ出さないように
注意して入れる

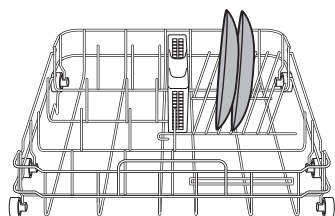
小皿

(直径12cm以下)



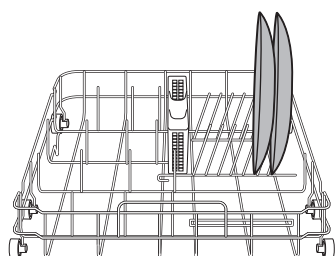
中皿

(直径17cm以下)



大皿

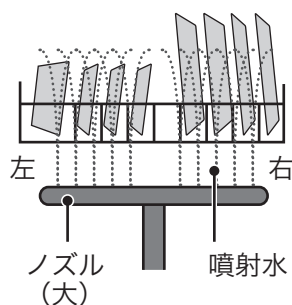
(直径23cm以下)



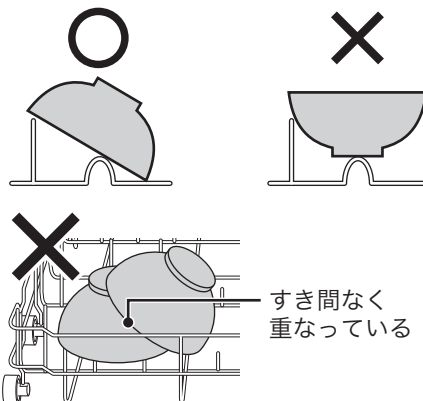
▶ 食器の並べかたのご注意

- 食器は汚れた面を下に向け、ノズルの噴射水が届きやすい角度で置いてください。

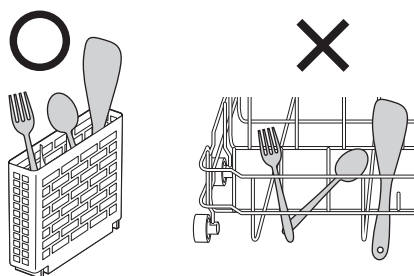
横から見た図



- 食器がすき間なく重なっていると、噴射水が届かないため洗浄できません。きちんと噴射水が当たるようにすき間を空けてください。



- 食器は倒れたり、落下したりしないように置いてください。スプーンや木べらなどの細いもの、小さいものは、小物入れに入れてください。かごから食器などが落下するとノズルの回転が止まってしまい、洗浄できません。



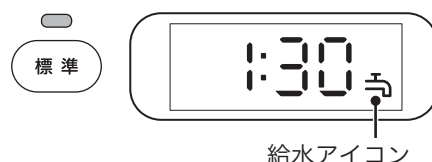
給水する

洗浄・すすぎに必要な水量(約5L)をブザーが鳴り、給水アイコンが消えるまで給水してください。
付属品の給水カップで内部のタンクに水を入れる方法と、分岐水栓から給水する方法があります。

1

入/切(電源)ボタンを長押しして 電源を入れる

標準ランプが点灯し、標準コースの運転時間と給水アイコンが表示されます。

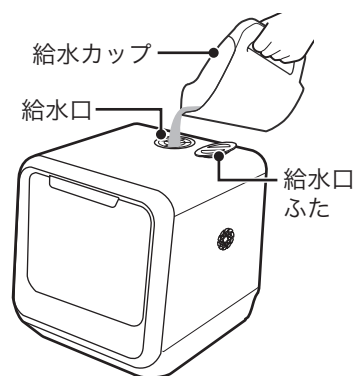


2

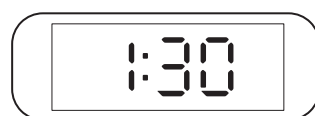
給水する

▶ 給水カップで給水する場合

付属品の給水カップに水を入れ、本体上部の給水口ふたを外し、給水口にゆっくり注いでください。



- ブザーが鳴るまで給水してください。タンクが満水になると、給水アイコンが消えます。



ご注意

- 満水以上の水を入れないでください。水があふれて故障の原因になります。
- お湯を入れないでください。故障の原因になります。

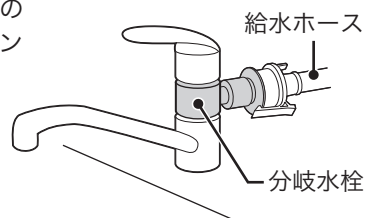
おしらせ

- ご使用の度に、ブザーが鳴るまで(満水まで)水を入れてください。一度の洗浄で水はすべて排水されるため、洗浄するたびに給水してください。

▶ 分岐水栓から給水する場合

分岐水栓を開けてください。分岐水栓の場合は、この時点では給水されません。スタート/一時停止ボタンを押すと給水が始まります。

分岐水栓の使いかたは、分岐水栓に付属している取扱説明書等をご覧ください。



- 分岐水栓の接続のしかた
➡ 「給排水の接続」 **22ページ**

洗浄コースについて

使用用途や食器の種類、汚れ具合などによって4つの洗浄コースからお選びいただけます。
各コースとも「洗浄」「すすぎ」「送風乾燥」を行います。その後、送風乾燥(1時間)を行い、庫内の余熱で食器を乾かします。

● おいそぎコースのみ、送風乾燥(1時間)を行いません。

コース	こんなとき	洗浄・すすぎ・送風乾燥 時間の目安(約)	送風乾燥 (1時間)
標準	食後すぐに洗うときや通常のご使用時	1時間30分	あり
念入り	食後から時間が経過したものや、調理器具などを洗うとき	2時間10分	
おいそぎ	汚れが軽いもの、つけおきや水洗い後のものを洗うとき 他のコースと比べて運転時間が短いため、水滴が残ったり 油污れのあるものは汚れが完全に落ち切らなかったりする 場合があります。	39分	なし
ソフト	プラスチック製の食器を洗うとき、耐熱温度65℃～90℃ 未満のものを洗うとき プラスチック製の食器は、料理の色素で色がついてしまう 場合がありますので食後すぐに洗ってください。	1時間45分	あり

おしらせ

- 洗浄コースの実際の運転時間は、給水される水の温度などによって変わります。
- すすぎの最後は加熱すすぎになります。
(標準：約 65℃、念入り：約 70℃、おいそぎ：約 45℃、ソフト：約 60℃)

▶ オプションモード

4つのコースに加えて、2つのオプションモードがあります。

モード	動作
ドライキープ	各コースでの運転と送風乾燥後、再結露やにおいのこもりを緩和する機能です。ドライキープ中、送風と停止を繰り返し、約76時間で終了します。ドライキープだけで使用することはできません。
予約	時間を設定し、設定した時間後に自動で運転を開始します。 予約時間を1時間～6時間まで1時間単位で設定できます。

おしらせ

- 本製品は、ヒーターを使用しない送風乾燥で食器を乾かします。
熱に弱い食器にもご使用いただけますが、完全に乾かずに少し水滴が残る場合があります。

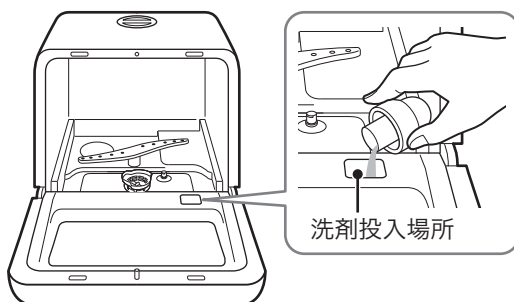
食器を洗う／乾燥させる

1

ドアを開けて食器洗い機専用洗剤を入れる

洗剤の標準量

- 粉末または液体洗剤の場合：約6g
- タブレット洗剤の場合：1個
(タブレット洗剤の説明書をご確認ください)



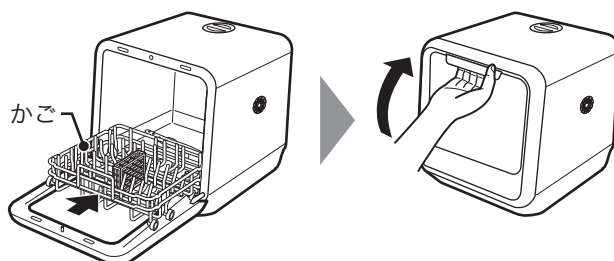
ご注意

- ドアと本体のすきまに指を入れないでください。ドアの開閉時に指がはさまれ、けがの原因になります。

2

食器をかごにセットして庫内に入れ、ドアを確実に閉める

➡ 「食器を入れる」 10 ページ



3

洗浄コースを選ぶ

選んだ洗浄コースのランプが点灯し、運転時間が表示されます。

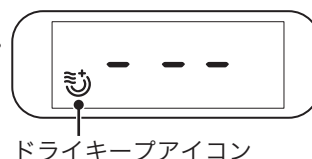
➡ 「洗浄コースについて」 13 ページ

▶ ドライキープを設定する場合

ドライキープ ボタンを押す

ドライキープランプが点灯します。
各コースの運転と1時間の送風乾燥(おいそぎコースを除く)終了後、ドライキープランプが点滅し、ドライキープが始まります。
ドライキープの運転中にスタート／一時停止ボタンを押す、またはドアを開けると、ドライキープがキャンセルされ、運転が終了します。

ドライキープ
運転中



▶ 予約を設定する場合

予約 ボタンを押す

予約ランプが点灯し、予約時間が表示されます。
予約時間を1時間～6時間まで1時間単位で設定できます。予約ボタンを押すたびに予約時間が次のように切り替わります。

1時間(H:01)→2時間(H:02) …→6時間(H:06)
→切(H:00)



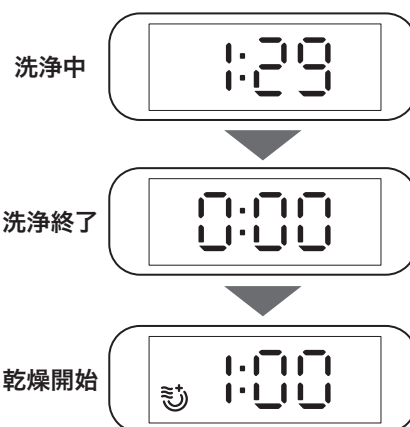
4

スタート 一時停止 (スタート／一時停止) ボタンを 押して、洗浄を開始する

表示中の運転時間が減っていき、残り時間を確認
できます。

洗浄が終わると、ブザーが鳴り、送風乾燥時間
(1時間)とドライキープアイコンが表示され、送
風乾燥が始まります。(おいそぎコースを除く)

- 予約を設定した場合は、設定した時間後に洗
浄が始まります。
- 運転中に停電などにより電源が切れた場合、
電力復帰後中断したところから運転を再開し
ます。



▶ 一時停止する

運転中に スタート 一時停止 (スタート／一時停止) ボタンを押す

一時停止中に再びスタート／一時停止ボタンを押すと、運転を再開します。

- 運転中にドアを開けると庫内から水滴が落ちる場合があります。

▶ 運転開始後に洗浄コースを変更する

運転中の洗浄コースを取り消して、他の洗浄コースに変更することができます。

- 1** スタート
一時停止 (スタート／一時停止) ボタンを押す
運転を一時停止します。
- 2** 洗浄コースボタンのいずれかを3秒間長押しする
運転中の洗浄コースが取り消されます。
- 3** 洗浄コースを選び、スタート
一時停止 (スタート／一時停止) ボタンを押す
選りなおした洗浄コースで運転を開始します。
分岐水栓を接続していない場合は、給水アイコンの表示が消えるまで給水カップで給水した後、
スタート／一時停止ボタンを押してください。

5

運転終了後、食器を取り出す

送風乾燥が終了すると、ドライキープアイコンが消灯します。(おいそぎコースを除く)
かごをゆっくり引き出し、手前から食器を1つずつ取り出してください。

お知らせ

- 食器が乾いていてもドアや庫内などに水滴が残りますが、故障ではありません。
水滴が気になる場合は、ふきんなどで拭き取ってください。

お手入れのしかた

ご注意

- お手入れは、電源を切って必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- お手入れは運転終了後、庫内が常温になっていることを確認してから行ってください。
高温部に触れると、やけど・けがの原因になります。
- 本体に水やお湯をかけたり、庫内に入れたりしないでください。
水漏れや内部に水が入るなどして、故障の原因になります。また、これらによって修理が必要となった場合、保証期間内でも保証の対象外となりますのでご注意ください。
- お手入れ後に給水・排水ホースの接続が緩んでいる場合は、しっかり締め付けてください。

残さいフィルターとメッシュトレイ

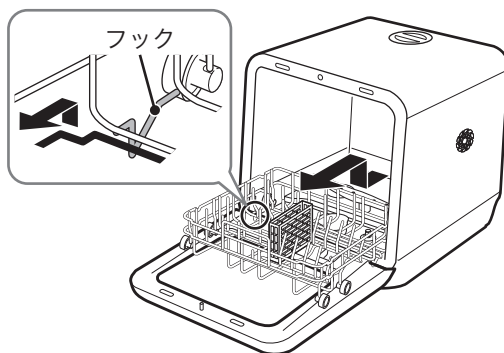
残さいフィルターは食器から取り除いた残さいが溜まりますので、メッシュトレイとあわせて毎回お手入れしてください。

残さいフィルターが詰まると洗浄効果が落ち、におい移りなどの原因になります。

1

かごを取り出す

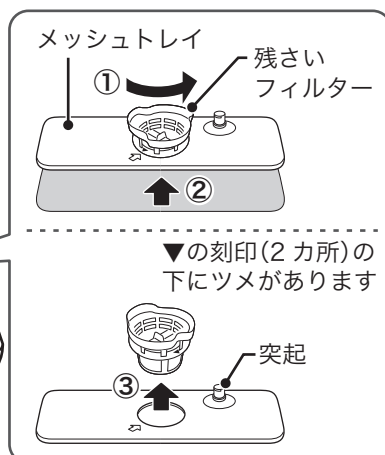
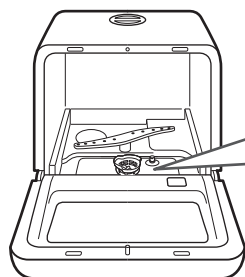
前に引き出してから少し上に持ち上げ、フックをドアの縁からはずしながら取り出します。



2

残さいフィルターとメッシュトレイを取りはずす

残さいフィルターを反時計回りに回して上に引き上げると、残さいフィルターがメッシュトレイごとはずれます。その後、残さいフィルターのツメ(2カ所)をはずしてメッシュトレイからはずします。



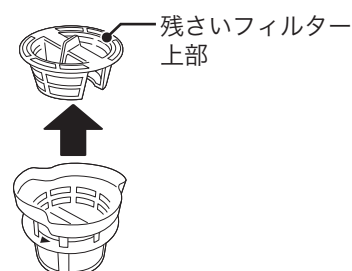
- メッシュトレイの突起部分は取りはずせません。

ご注意

- お買い上げ時は残さいフィルターが外しにくいことがあります。残さいフィルターのツメを確認しながら外してください。

3

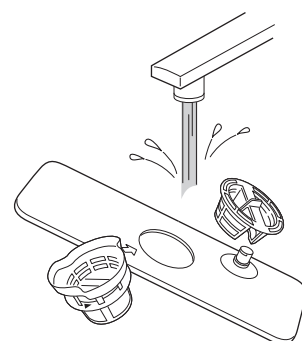
残さいフィルターの上部をまっすぐ引き抜いてはずす



4

残さいフィルター内の残さいを捨て、残さいフィルターとメッシュトレイを流水で洗う

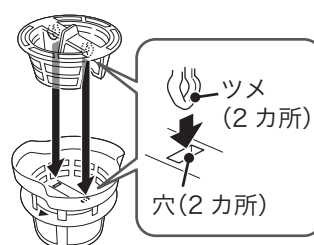
洗ったあとは水気をふき取り、乾かしてください。



5

残さいフィルターの上部を下部に差し込み、まっすぐ押し込んで取り付ける

残さいフィルター上部のツメ (2カ所) を下部の穴 (2カ所) に合わせてまっすぐ差し込みます。



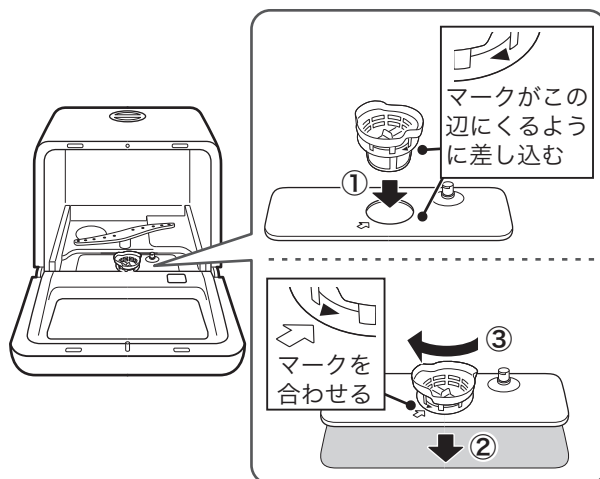
6

メッシュトレイと残さいフィルターを組み立て、本体に取り付ける

残さいフィルターをメッシュトレイにまっすぐ差し込んで組み立てます。

次に、残さいフィルターの▼の刻印の位置に注意しながら庫内の元の位置にセットし、残さいフィルターを時計回りに回して⌂の位置に合わせます。

- メッシュトレイと残さいフィルターがしっかり取り付けられていることを確認してください。



お手入れのしかた

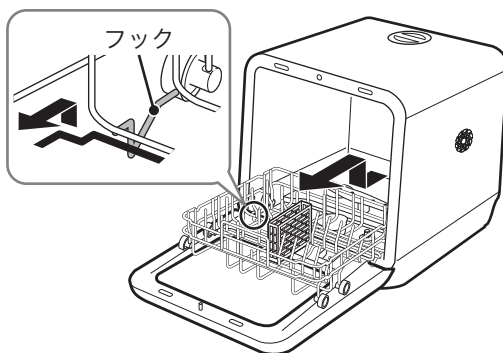
ノズル

ノズルは月に1回程度お手入れしてください。残さいなどが詰まると、洗浄効果が落ちる原因になります。

1

かごを取り出す

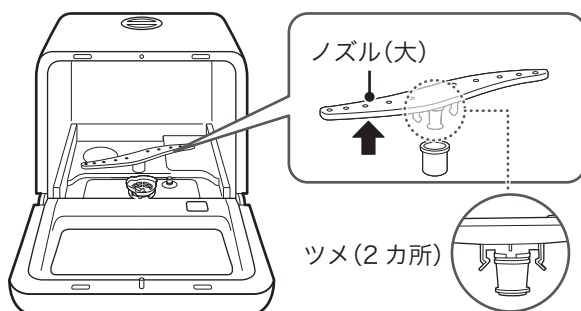
前に引き出してから少し上に持ち上げ、フックをドアの縁からはずしながら取り出します。



2

ノズルを取りはずす

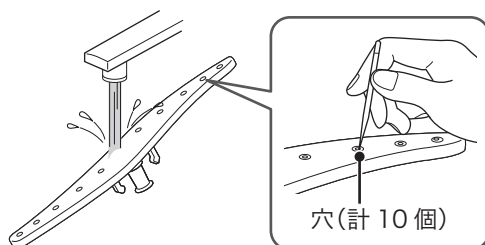
庫内底部からノズル(大)のツメ(2カ所)をはずして取りはずします。



3

ノズルを流水で洗う

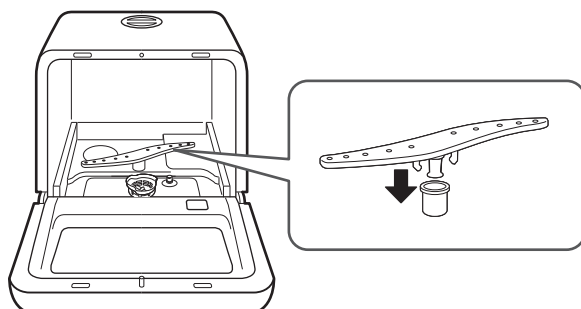
流水で残さいなどを洗い流してください。
• つまようじなどを使用し、ノズル(大)の穴の中もお手入れしてください。



4

ノズルを取り付ける

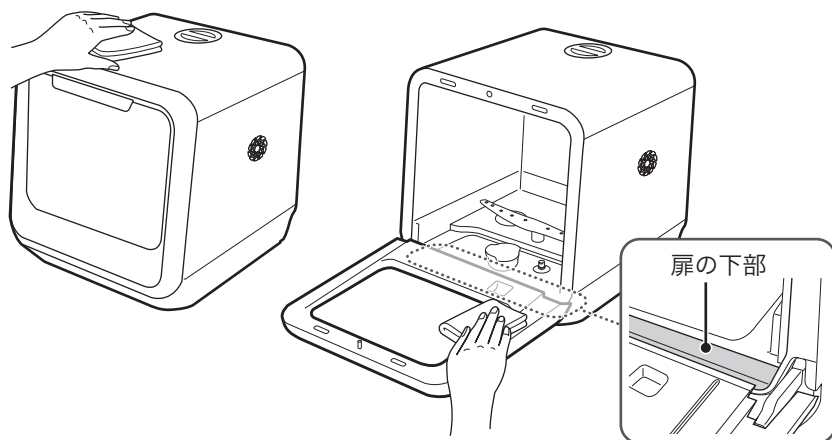
庫内底部にノズル(大)をまっすぐ押し込んで取り付けます。



本体

本体は定期的にお手入れしてください。

- ドア・パッキン・本体外側は、よく絞った布で拭いてから柔らかい布で拭きしてください。
- ノズルの噴射水が直接当たらない庫内および扉の下部付近(右図参照)は、かごを取り出してからよく絞った柔らかい布で拭いてください。
- 本体や接続ホース下部は、油汚れを防ぐため、よく絞った柔らかい布で拭いてください。



ご注意

- ドアパッキンが汚れた場合は、スポンジまたは水にぬらした清潔な布ですぐにお手入れしてください。
- お手入れの際は柔らかい布を使用し、目の粗いスポンジやクレンザーなどは使用しないでください。
本体やドアパッキンの傷の原因になります。
- 一週間以上使用しないときは、よく絞った布でドアパッキンと庫内の汚れを取り除き、柔らかい布で拭きしてください。
水滴や汚れが付着していると、黒カビが発生する原因になります。
- 本体外側は、漂白剤・洗剤・シンナー・ベンジン・クレンザー・ワックス・消毒液などを使用しないでください。
傷・変形の原因になります。

| 据え付け

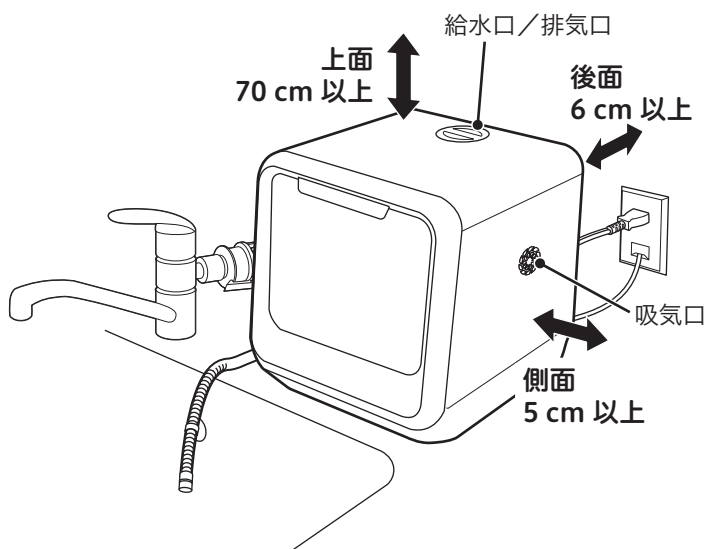
本製品は、以下の説明に従って正しく設置してください。

本書に記載の通りに設置・据え付け・試運転・点検を行わなかった場合、事故や損害が生じてても当社は一切の責任を負いません。

設置場所

- 本製品はキッチンのワークトップなど、水平で安定した場所に設置してください。
- ドアが正常に開き、問題なく操作できるだけの空間を確保してください。
- 給水口／排気口、吸気口はふさがらないでください。
- 本体の金属部分が、流し台のステンレス板や家屋の金属部分などと電氣的に接触しないようご注意ください。法令により義務付けられています。(電気設備の技術基準の解釈)

詳しくは、お住いの市町村の条例に従ってください。



警告



ガスコンロなどの熱源から15cm以上離す
火災の原因になります。

注意



禁止

冬場に凍結するおそれがある場所(室温0℃以下)に置かない



周囲にできる限り物が無い所に置く

本体から出る水蒸気によって、結露することがあります。



熱源から離し、直射日光の当たらない所に設置する
塗装のはがれや変色の原因になります。

アース・電源の接続

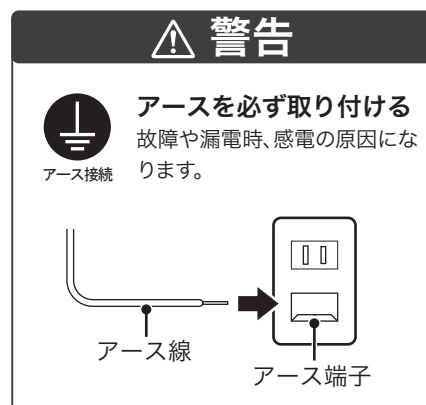
漏電時の感電防止のため、アースを確実に取り付けてください。

1

アースを取り付ける

アースの先端を確実にアース端子に接続してください。

- 接地抵抗値100Ω以下であることを確認してください。



ご注意

- コンセントにアース端子がない場合、必ず電気設備技術基準に基づく電気工事士によるD種接地工事をしてください。
詳しくは、お買い上げの販売店または電気工事店にご相談ください。
工費の際は、工事費用が別途必要です。
- 電源回路には漏電ブレーカーが必要です。
法令で定められています。
- ガス管、水道管、電話、避雷針のアース回路、漏電ブレーカーなど他の製品のアース回路には接続しないでください。
法令で禁止されています。

2

電源プラグをコンセント(AC100V、15A以上)にしっかりと差し込む

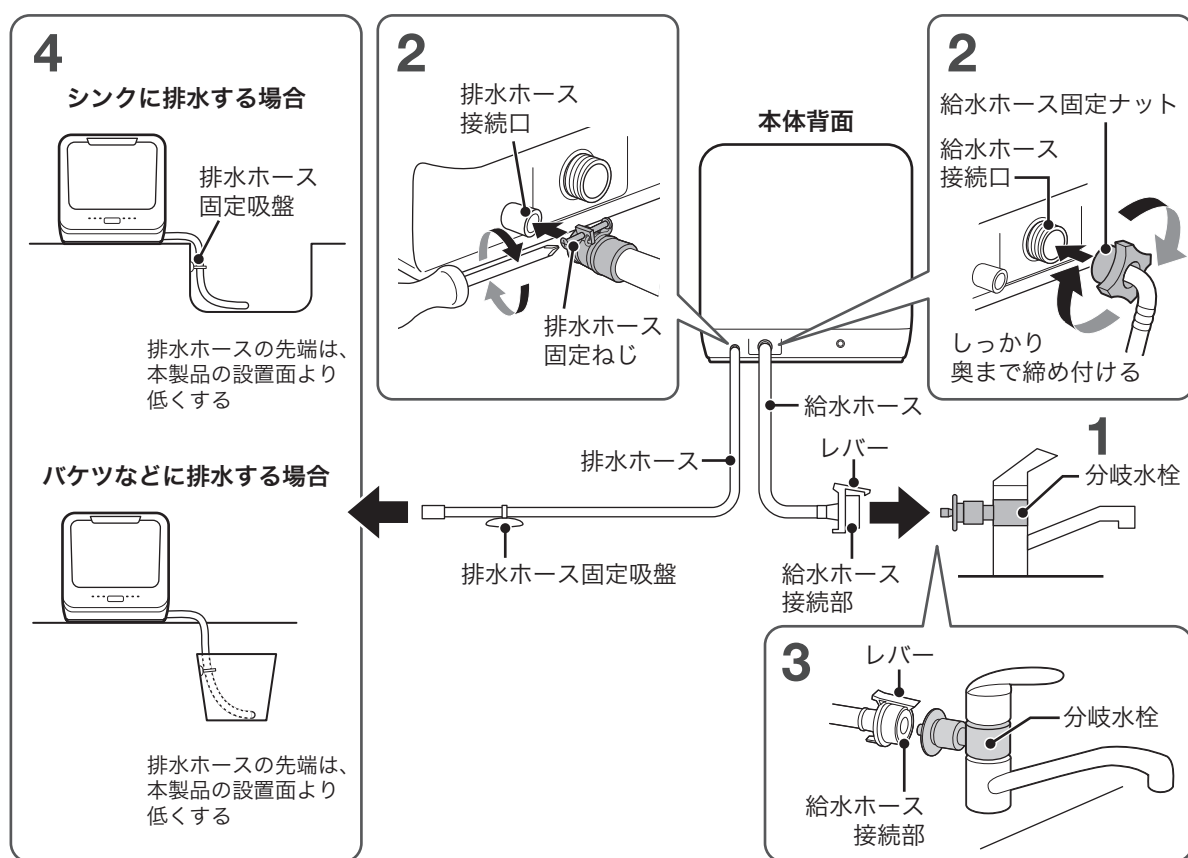
給排水の接続

ご注意

- 本製品は給湯機に接続できません。
- 分岐水栓を使用する場合、水道の水圧が0.04MPa～1MPaの範囲であることを確認してください。
範囲外の水道で使用すると、故障の原因になります。

おしらせ

- 給水カップで給水して使用する場合は、排水ホースの接続のみ行ってください。



1

分岐水栓を取り付ける

分岐水栓の取り付けかたに関しては、販売店または施工業者へお問い合わせください。

2

給水・排水ホースを本体に接続する

給水ホースを給水ホース接続口に差し込み、給水ホース固定ナットをしっかり締め付けます。排水ホースを排水ホース接続口に奥までしっかり差し込み、排水ホース固定ネジで固定します。給水ホース接続口と排水ホース接続口のふたを取り外すときは、ふたをなくさないように保管してください。

3

分岐水栓に給水ホースを接続する

給水ホース接続部のレバーを押して、「カチッ」と音がするまで分岐水栓に押し込んで接続します。

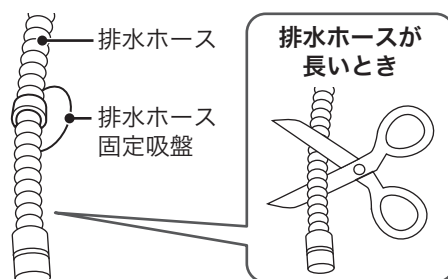
- 接続後は分岐水栓を開き、接続部などに水漏れがないことを確認してください。

4

排水ホースを固定する

排水ホース固定吸盤を、排水場所に固定します。

- 排水ホースの先端は、本製品の設置面より低くしてください。
- 排水ホースが長すぎる場合は、はさみなどで余分な部分を切り取ってください。



5

試運転をする

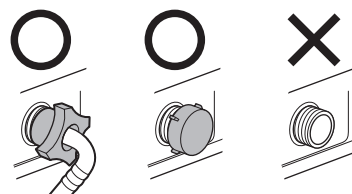
給水した後、おいそぎコースで運転してください。

その際に、給水・排水ホースの接続部などに水漏れがないか確認してください。

- 運転のしかた ➡ 「給水する」 **12ページ**
➡ 「食器を洗う／乾燥させる」 **14ページ**

ご注意

- 本製品を使用しないときは、分岐水栓を閉めてください。
- 給水ホースは必ず付属の新品を取り付け、古いものは使用しないでください。
使用すると水漏れの原因になります。
- 分岐水栓を使用しない場合、給水ホース接続口のふたを外さないでください。
給水口から給水したとき、水漏れの原因になります。
- 給水ホースや排水ホースを外したときは、必ず接続口のふたを取り付けてください。



| 仕上がりが気になるとき

食器の底のくぼみに水滴が残る、乾きが悪い。

A

- 送風で乾燥させるため、かごに接触している部分や食器が重なっている部分、くぼみなどに水滴が残ることがあります。少し傾けてセットすることで残る水の量は少なくなります。
- 食器が重なっていませんか。食器を離して入れてください。
- プラスチック製品の場合は、水をはじいて大きな水滴になるため乾きにくなります。オプションのドライキープをご使用ください。
- おいそぎコースは乾燥時間が短いため、完全に乾かない場合があります。

汚れが落ちない。

A

- 食器洗い機専用の洗剤を使用していますか。必ず食器洗い機専用洗剤を使用してください。
- 食器洗い機専用洗剤は、汚れに応じて適切な量を入れましたか。洗剤の量が足りないと汚れが落ちない場合があります。
- 食器がかごの底からはみ出して、ノズルの回転を止めていませんか。食器がかごからはみ出さないように入れてください。
- 食器を入れすぎたり、重ねて入れたり、食器を入れる向きが間違っていないですか。すべての食器にノズルの噴射水が届くように正しい向きで入れてください。
- 残さいフィルターやノズルが目詰まりしていませんか。また、きちんと取り付けられていますか。残さいフィルターとノズルをお手入れしてください。
- 焦げ付きや油污れなどがある場合は、事前にこすり落としてから入れるか、手洗いしてください。
- おいそぎコースは洗浄時間が短いため、汚れをしっかりと落としたい場合は念入りコースで洗浄してください。

ガラス製の食器が白くくもる、白い跡が残る。

A

- 表面に小さな傷のついたガラス食器を高温で洗うと、まれに白くくもる場合があります。
- クリスタル製の食器は白くくもるため、入れないでください。
- ひどい油污れは、汚れが残る場合があります。食器洗い機専用洗剤を多めに入れて、運転してください。
- 白い跡は水に含まれているミネラル分によるものです。ときどきクエン酸をつけて、手洗いしてください。

黄ばむ・黒ずむ。

A

- 水に含まれている鉄分や、茶しぶなどによるものです。ときどき食器を手洗いしてください。

粉末洗剤が残る。

A

- 粉末洗剤が固まっていますか。かたまりがある場合は砕いてから使用してください。
- 洗剤が古くなっていませんか。新しい食器洗い機専用洗剤を使用してください。
- 洗剤を入れすぎではありませんか。食器の量や汚れ具合に応じた量を入れてください。
- ノズルが詰まっていたり、ノズルの回転が止まっていますか。

プラスチック製の食器が変形してしまう。

A

- プラスチックは熱の影響で変形するおそれがあります。耐熱温度 65℃未満のプラスチック製の食器は、洗わないでください。耐熱温度 65℃～90℃未満のプラスチック食器はソフトコースで洗ってください。

故障かなと思ったら

— 修理を依頼する前にご確認ください —

Q1 電源が入らない。

A 電源プラグが抜けていませんか。

電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。

Q2 運転が開始されない。

A1 ドアがきちんと閉まっていますか。

ドアをきちんと閉めてください。

A2 給水アイコンが表示されていませんか。

分岐水栓を接続している場合は分岐水栓を開いてください。接続していない場合は、給水アイコンの表示が消えるまで給水カップで給水してください。

Q3 ドアが閉まらない。

A1 食器がドアに当たっていませんか。

食器がドアに当たらないようにして、確実にドアを閉めてください。

A2 お買い上げ時は密封性を高めるために、ドアパッキンが固くなっています。ご使用していくと次第にパッキンがなじんできます。

Q4 窓がくもる。

A 運転終了後、庫内の余熱や水滴により窓がくもることがあります。ドライキープ機能を使用すると、窓のくもりを緩和することができます。

Q5 使用するにつれ、庫内や窓が白くくもる。

A 水に含まれているミネラル分によって、白くくもることがあります。庫内は食器洗い機専用クリーナー（市販品）を使ってお手入れしてください。また、窓はよく絞った柔らかい布で拭いてください。

Q6 設定ができない。

A 運転開始後、洗浄コースを変更できます。
➡「運転開始後に洗浄コースを変更する」**15ページ**

| 故障かなと思ったら

Q7 ぶつかるような音やカタカタ音がする。

A1 食器がノズルに当たっていませんか。

食器がかごからはみ出すなどして、ノズルに当たらないようご注意ください。

A2 軽い食器は運転中に移動することがあります。軽い食器を入れるときは、できる限り安定するように置いてください。

Q8 泡が立ちすぎる。

A1 台所用洗剤を使用していませんか。

台所用洗剤は使用できません。少量でも付着していると故障の原因になりますので、必ず食器洗い機専用洗剤をご使用ください。

A2 事前に手洗いしたときの洗剤が残っていませんか。

泡が消えない場合は、次の手順で排水を行ってください。洗浄コースを変更して、排水を行います。「運転開始後に洗浄コースを変更する」**15ページ**の③の手順の後、庫内の水が排水されます。排水されたら、再度、洗浄コースを変更し、泡がなくなるまで繰り返します。

Q9 給水が止まらない。

A 給水弁が故障している可能性があります。分岐水栓を閉めて電源プラグを抜き、お買い上げの販売店または施工業者にお問い合わせください。

Q10 洗浄やすすぎ中にノズルの噴射が止まる。

A ノズルの穴が詰まってませんか。

ノズルのお手入れをしてください。

Q11 使用後、本体内部に水滴がついている。

A 結露によるものです。食器が乾いていてもドアの内側や庫内などに水滴が残りますが、故障ではありません。

Q12 残さいフィルターの下に水が溜まっている。

A 正常な状態です。故障ではありません。

Q13 ブレーカーが落ちた。

A 原因を取り除いてからブレーカーを復帰させてください。電源が入ると運転を再開します。

Q14 停電した。

A 停電が回復したら、運転を再開します。

Q15 断水した（分岐水栓と接続している場合）。

A 入／切(電源)ボタンを押して電源を切り、分岐水栓を閉めます。水道が復旧したら、他の水栓を開けて濁った水が流れないことを確認した後、本製品が接続されている分岐水栓を開けて運転を再開してください。

Q16 凍結した。

A 25℃以上の環境にしばらく放置してください。その後、運転を再開できなかった場合は、故障の可能性あります。電源プラグを抜いて使用を中止し、「修理をご依頼いただく前に」**29 ページ**をご確認ください。

| 故障かなと思ったら

Q17 給水アイコンが点滅する。

給水できないときに点滅します。入/切(電源)ボタンを長押しして電源を切り、次のことを確認してください。

- | | | | |
|-----------|--------------------|---|---|
| A1 | 給水ホースが折れ曲がっていませんか。 | ➤ | 給水ホースを確認し、折れ曲がっている場合は直してください。 |
| A2 | 分岐水栓が閉まっていませんか。 | ➤ | 分岐水栓を開いてください。 |
| A3 | 給水ホースが詰まっていませんか。 | ➤ | 電源プラグを抜いて分岐水栓を閉め、給水ホースをお手入れしてください。 |
| A4 | 断水していませんか。 | ➤ | 水道が復旧したら、他の水栓を開けて濁った水が流れないことを確認した後、本製品が接続されている分岐水栓を開けて運転を再開してください。 |
| A5 | 給水ホースが凍結していませんか。 | ➤ | 25℃以上の環境にしばらく放置してください。その後、運転を再開できなかった場合は故障の可能性があります。電源プラグを抜いて使用を中止し、「修理をご依頼いただく前に」 29ページ をご確認ください。 |

Q18 エラーメッセージ (E1、Ed) が表示される。

- A** 故障の可能性があります。入/切(電源)ボタンを長押しして電源を切り、電源プラグを抜いて直ちに使用を中止し、「修理をご依頼いただく前に」**29ページ**をご確認ください。

Q19 エラーメッセージ (E2、E4) が表示される。

水漏れしている可能性があります。入/切(電源)ボタンを長押しして電源を切り、次のことを確認してください。

- | | | | |
|-----------|-----------------------------|---|---|
| A1 | 排水ホースが折れ曲がっていませんか。 | | 本体を斜めにするなどして底面の水が排水されれば、エラーが解消されることがあります。
下記の、本体底面の水を抜く手順をお試しく下さい。
ご注意：本体の隙間から水が漏れるため、流し台などで作業してください。 |
| A2 | 残さいフィルターまたは排水ホースが詰まっていませんか。 | ➤ | 本体底面の水の抜きかた
1. 電源プラグを抜く
2. 本体の前面の下にタオルなどを敷く
3. 本体を前面に傾けて、本体底面にたまった水を抜く |
| A3 | 台所用洗剤を使用して泡が大量に発生していませんか。 | | その後、電源を入れてエラーが解消されるか確認してください。1日程度時間をおいても運転を再開できなかった場合は故障の可能性があります。電源プラグを抜いて使用を中止し、「修理をご依頼いただく前に」 29ページ をご確認ください。 |

| 修理をご依頼いただく前に

エラー内容によっては、時間をおくとエラーが解消されることがあるため、修理をご依頼いただく前に下記に従って症状の確認をお願いします。

1. 電源が切れていることを確認して、電源プラグを抜く。
2. 電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れる。
3. エラーメッセージ(E1、E2、E4、Ed)が表示されているか確認する。
 - ・表示されている → **5** へ進む
 - ・表示されていない → **4** へ進む
4. おいそぎコースで運転できるか確認する
 - ・運転できる → 正常に運転終了した場合はそのままお使いください。
 - ・運転できない → **5** へ進む
5. 次の手順で庫内の水を排水する。
 - ① 《予約》ボタンと《標準》ボタンを同時に長押しする
 - ② 「一」が表示され、庫内の水が排水される(不具合の内容によっては排水できないことがあります)
6. 電源を入れ直し、エラーメッセージが表示される場合、または運転できない場合、販売店またはシロカサポートセンターにご連絡ください。

お願い

エラーメッセージ(E2、E4)が表示される場合は、「故障かなと思ったら」**Q19**の「本体底面の水の抜きかた」**28ページ**を参照し、必ず底面の水を抜いてから左記を確認してください。

| 仕様

品名(型番)	食器洗い乾燥機(SS-M151)
電源	交流 100 V、50/60 Hz
消費電力	512 W / 526 W
質量(約)	13 kg (本体、かご、小物入れ)
外形寸法(約)	幅 42 cm × 奥行 43.5 cm × 高さ 43.5 cm
使用水量(約)	5 L
水道水圧	0.04 MPa ~ 1 MPa
洗浄方式	回転ノズル噴射式
すすぎ方式	ためすすぎ
乾燥方式	送風乾燥
標準収納容量	16 点(大皿2点、中皿2点、小皿2点、中鉢2点、小鉢2点、茶わん2点、汁わん2点、コップ2点、小物類(はし、スプーン等))
専用洗剤の標準使用量(約)	6 g
付属品	かご、小物入れ、給水ホース、排水ホース、給水カップ
原産国	中国

重要

この製品は、日本国内用に設計・販売しています。日本国外では使用できません。海外での修理や部品販売などのアフターサービスも対象外となります。

| 部品・消耗品

劣化・損傷したり、紛失してしまったときは、お買い上げの販売店でお買い求めください。

部品名	部品コード	部品名	部品コード
給水ホース	SS-M100-KH	小物入れ	SS-M100-KI
排水ホース (クリップ/吸盤付き)	SS-M100-HH	残さいフィルター	SS-M100-ZF
給水カップ	SS-M100-KC	メッシュトレイ (突起付き)	SS-M100-MT
かご	SS-M100-KG		

部品・消耗品は、販売店のほかに、インターネットでもご注文いただけます。

<https://siroca.jp/>

| アフターサービス

▶ 保証書（裏表紙）

裏表紙に添付しています。お買い上げ日と販売店名の記入をご確認いただき、販売店からお受け取りください。
保証書はよくお読みになり、大切に保管してください。

▶ 修理を依頼されるとき

取扱説明書の内容をご確認いただき、故障が疑われる場合には販売店、またはシロカサポートセンターにお問い合わせください。

保証期間中（お買い上げ日から1年未満）の修理

保証書の規定により、無料で修理いたします。製品に保証書を添えてお買い上げの販売店、またはシロカサポートセンターまでご相談ください。

保証期間が過ぎている（お買い上げ日から1年以上）修理

修理によりお使いになれる製品は、お客様の要望により有料で修理いたします。お買い上げの販売店、またはシロカサポートセンターまでご相談ください。

▶ 保証期間

お買い上げ日から1年間となります。

▶ 補修料金のしくみ

補修料金は技術料（故障した製品の修理および部品交換などにかかる作業料金）と部品代（修理に使用した部品の代金）などで構成されています。

▶ 補修用性能部品の最低保有期間

この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後6年です。
その製品の機能を維持するために必要な部品を性能部品といえます。

▶ 補修部品について

補修部品は部品共通化のため、一部仕様や外観色などが変更となる場合があります。
お客様ご自身での修理は大変危険です。絶対に分解したり手を加えたりしないでください。

—— 長年ご使用の製品の点検を! ——

- 定期的に「安全上のご注意」を確認してお使いください。誤った使いかたや長年のご使用による熱・湿気・ほこりなどの影響により、部品が劣化し、故障や事故につながることもあります。
- 電源プラグやコンセントにたまっているほこりは取り除いてください。

お客様相談窓口

ご相談・ご依頼

修理、使いかた、お手入れなどに関するご相談・ご依頼は、下記へご連絡ください。

シロカサポートセンター

▶ 電話

ナビダイヤル  **0570-001-469**

上記番号がご利用いただけない場合 **03-3234-8800**

▶ 受付時間

10:00 ~ 17:00（弊社指定休業日を除く。詳しくはホームページをご覧ください）

おねがい

- 通話中の場合、しばらく経ってからおかけ直してください。
- 時間帯によっては電話が混み合い、つながりにくい場合がございます。
- サポートセンターの電話番号、住所は予告なく変更することがあります。

▶ ホームページ

<https://siroca.co.jp/>

「お客様サポート」のページからお入りください。

部品・消耗品のご購入

部品・消耗品は、販売店のほかにインターネットでもご注文いただけます。
詳しくは下記のホームページをご覧ください。

<https://siroca.jp/>

お客様の個人情報のお取り扱いについて

- シロカ株式会社(以下「弊社」)は、お客様の個人情報をお客様からの対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
- 次の場合を除き、弊社以外の第三者に個人情報を提供することはありません。
 - (a) 修理やその確認、業務を委託する場合
 - (b) 法令の定める規定に基づく場合

保証書

本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本書は大切に保管してください。

お買い上げ日から保証期間中に故障が発生した場合は、本書と製品を併せた状態で、お買い上げいただいた販売店、もしくはシロカサポートセンターまでお問い合わせください。

型 番：SS-M151	ご購入日： 年 月 日
保証期間：お買い上げ日より本体 1 年間	シリアル NO.：
お 客 様： ふりがな	販 売 店： 店名・住所・電話
お名前	
ご住所	
お電話	※購入日を証明するレシートまたは送り状などを必ず添付してください。 証明がない場合、保証対象にならない場合があります。
シロカサポートセンター 電 話：ナビダイヤル  0570-001-469 上記番号がご利用いただけない場合 03-3234-8800 受付時間：10：00～17：00 (弊社指定休業日を除く。詳しくはホームページをご覧ください) ホームページ http://siroca.co.jp/	シロカ株式会社 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2丁目4番地 東京建物神保町ビル5F
この保証書は、本書記載内容で無償修理をおこなうことをお約束するものです。 お買い上げの日から保証期間中に、取扱説明書、本体ラベル、その他の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、本書記載内容に基づき当社が無償修理いたしますので、商品と本保証書をご用意のうえ、お買い上げいただいた販売店、もしくはサポートセンターまでご依頼ください。 1. 保証期間内でも次のような場合には有償修理となります。 (1) 使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。 (2) お買い上げ後の取り付け場所の移動、落下、引っ越し、塩害、輸送などによる故障または損傷。 (3) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変ならびに公害や異常電圧、その他の外部要因による故障または損傷。 (4) 車両、船舶への搭載や、極端な高温、低温、多湿、埃の多い場所などで使用された場合の故障または損傷。 (5) 一般家庭以外（例えば業務用など）で使用された場合の故障または損傷。 (6) 本書のご提示がない場合。 (7) 本機のご購入を証明するレシート等の証明書が無く、本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名が確認できない場合あるいは字句を書き換えられた場合。 (8) 樹脂加工やメッキの摩耗や打痕、プラスチック部の損傷。(かすり傷、へこみなどを含みます) (9) 高温多湿の場所など保存上の不備、経年劣化、自然消耗による瑕疵の場合。 (10) 腐食による故障、及び損傷 (11) 故障の原因が本製品以外（電源など）にあって、それを点検、修理した場合。 (12) フィルター、バッテリーなどの消耗品の場合。 (13) 日本国外で使用された場合。 2. お買い上げ店などへご持参いただく際の交通費、サポートセンターへご送付いただく際の送料、諸掛りはお客様のご負担となります。 3. 故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合があります。 4. 修理に際して再生部品、代替部品を使用する場合があります。また、修理により交換した部品は弊社が任意に回収のうえ適切に処理、処分させていただきます。 5. 本書に基づく無償修理（製品交換を含みます）後の製品については、最初のご購入時の保証期間が適用されます。 6. 故障によりお買い上げの製品を使用できなかったことによる損害については補償いたしません。 7. 本製品のご使用や、本製品の故障に起因する付随的損害については、弊社では一切の責任を負いかねます。 ※本製品でのご使用により生じたその他の機器損害に対し、弊社は一切の責任を負いかねます。 ※本製品でのご使用、または使用不能から生じる付随的な損害に対し、弊社では一切の責任を負いかねます。 8. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。 9. 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan. この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。 従って、この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。	

シロカの最新情報はこちらでチェック！



シロカ公式
Facebook
www.facebook.com/siroca.jp



シロカ公式
Instagram
www.instagram.com/siroca.jp/



部品・消耗品の
ご購入
siroca.jp